

平成29年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 数学 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		数と式	2年	A(1)ア 整式の加法, 減法	簡単な整式の加法, 減法の計算ができること。			○		○	
②		(2)		数と式	2年	A(1)ア 単項式の乗法, 除法	単項式の乗法, 除法の計算ができること。			○		○	
③		(3)		数と式	2年	A(1)ア 整式の加法, 減法	多項式の加法の計算ができること。			○		○	
④	2	(1)		数と式	2年	A(1)ウ 目的に応じた式の変形	目的に応じて, 簡単な式を変形することができること。			○		○	
⑤		(2)		数と式	2年	A(2)ア 二元一次方程式とその解の意味	二元一次方程式とその解の意味を理解していること。				○	○	
⑥		(3)		数と式	2年	A(2)ウ 連立二元一次方程式を解くこと	連立二元一次方程式を解くことができること。			○		○	
⑦		(4)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いて表したり読み取ったりすること	数量の関係を文字を用いた式に表すことができること。			○		○	
⑧		(5)		図形	1年	B(1)イ 平行移動, 対称移動及び回転移動	回転の中心の位置及び回転角の大きさについて理解していること。				○	○	
⑨		(6)		図形	2年	B(1)ア 平行線や角の性質	平行線の性質を用いて, 角の大きさを求めることができること。			○		○	
⑩		(7)		図形	1年	B(2)ウ 図形の計量	円柱と円錐の体積の関係について理解していること。				○	○	
⑪		(8)		関数	2年	C(1)イ 一次関数の特徴	一次関数について, 変化の割合を基にしてyの増加量を求めることができること。			○		○	
⑫	3	(1)		図形	2年	B(1)イ 多角形の角についての性質	五角形の内角の和の求める方法について, 与えられた図から読み取ることができること。		○				○
⑬		(2)		図形	2年	B(1)イ 多角形の角についての性質	n角形の内角の和を既習のことに帰着させて説明することができること。		○				○
⑭	4	(1)		数と式	2年	A(1)イ 文字を用いた式をとらえ説明すること	与えられた情報から, 具体的な数を用いて確かめようとしていること。	○					○
⑮		(2)		数と式	2年	A(1)イ 文字を用いた式をとらえ説明すること	事象の中の数量関係を, 文字を用いた式で説明することができること。		○				○
⑯	5	(1)		関数	2年	C(1)エ 一次関数を用いて事象をとらえ説明すること	与えられた情報から, 具体的な値を求めようとしていること。	○					○
⑰		(2)		関数	2年	C(1)エ 一次関数を用いて事象をとらえ説明すること	与えられたグラフの傾きと数量の関係を理解していること。				○	○	
⑱		(3)		関数	2年	C(1)エ 一次関数を用いて事象をとらえ説明すること	与えられた条件について, 式やグラフを使って説明することができること。		○				○
⑲	6	(1)		資料の活用	1年	D(1)ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味	資料をヒストグラムを用いて整理することができること。			○		○	
⑳		(2)		資料の活用	1年	D(1)イ 資料の傾向をとらえ説明すること	資料の傾向をとらえ, ふさわしい代表値を根拠にして説明することができること。		○				○

※ 網掛けの問題は, 過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。